

土壌分析結果

分析項目	分析値	単位	判定					診断基準値
			少ない	やや少ない	適当	やや多い	多い	
pH	H ₂ O	6.2	—					6.0 - 7.0
	KCl	6.0	—					5.0 - 6.0
	EC	1.28	mS/cm					0.10 - 0.50
無機態窒素	硝酸態窒素	40.0	mg/100g					0.0 - 4.0
	アンモニア態窒素	7.5	mg/100g					0.0 - 2.0
	合計	47.6	mg/100g					0.0 - 6.0
	有効態リン酸	349.3	mg/100g					30.0 - 80.0
陽イオン交換性	カリ	189.3	mg/100g					83.6 - 109
	石灰	606.6	mg/100g					338.5 - 441.7
	苦土	102.4	mg/100g					78.2 - 102.1
	CEC	24.7	meq/100g					20.0 - 30.0
	腐植	3.2	%					3.0 - 5.0
	リン酸吸収係数	—	—					
	可給態窒素	—	mg/100g					1.0 - 5.0
陽イオン交換性	カリ飽和度	16.3	%					8.3
	石灰飽和度	87.6	%					56.4
	苦土飽和度	20.7	%					18.2
	総飽和度	124.6	%					82.9
物理性土壌	固相	50.1	%					40.0 - 45.0
	液相	19.3	%					25.0 - 30.0
	気相	30.6	%					25.0 - 30.0
	仮比重	1.45	—					0.90 - 1.10
	石灰/苦土比	4.2	比					3.1
	苦土/カリ比	1.3	比					2.2

※この診断書の基準値は施肥前のものです。

土壌の健康状態は問題を抱え悪化しています。早期に問題点を改善しないと、生育に悪影響が出てくるようになります。pH(H₂O)とpH(KCl)との差が小さくなっており、養分過剰に留意してください。NO₃-Nの残留がかなりあります。その影響でpH(H₂O)の値が抑えられ、ECの値が高くなっている可能性があります。トマトはナス科の為、高いECに対して耐性がある方ですが、これ以上ECを高めないようにしましょう。窒素の施用量に留意してください。NH₄-Nの残留があります。窒素の施用量に留意してください。リン酸はかなり過剰です。カルシウムやカリウム、微量元素等が植物に吸収されにくくなるリスクがあります。塩基バランスにもかなり偏りが見られます。特にカルシウムの飽和度がかなり大きいようです。固相率が若干高いので、堆肥などの有機物の施用を推奨します。

土壌分析結果

分析項目	分析値	単位	判定					診断基準値
			少ない	やや少ない	適当	やや多い	多い	
pH	H ₂ O	6.3	—					6.0 - 7.0
	KCl	6.0	—					5.0 - 6.0
	EC	0.43	mS/cm					0.10 - 0.50
無機態窒素	硝酸態窒素	15.4	mg/100g					0.0 - 4.0
	アンモニア態窒素	0.4	mg/100g					0.0 - 2.0
	合計	15.8	mg/100g					0.0 - 6.0
	有効態リン酸	469.0	mg/100g					30.0 - 80.0
陽イオン交換性	カリ	93.1	mg/100g					83.1 - 108.4
	石灰	720.4	mg/100g					336.5 - 439.2
	苦土	97.9	mg/100g					77.8 - 101.5
	CEC	24.4	meq/100g					20.0 - 30.0
	腐植	3.7	%					3.0 - 5.0
	リン酸吸収係数	—	—					
	可給態窒素	—	mg/100g					1.0 - 5.0
塩基・陽イオン飽和度	カリ飽和度	8.1	%					8.3
	石灰飽和度	105.4	%					56.7
	苦土飽和度	20.0	%					18.4
	総飽和度	133.6	%					83.5
物理性土壌	固相	43.0	%					40.0 - 45.0
	液相	25.0	%					25.0 - 30.0
	気相	32.0	%					25.0 - 30.0
	仮比重	1.24	—					0.90 - 1.10
	石灰/苦土比	5.3	比					3.1
	苦土/カリ比	2.5	比					2.2

※この診断書の基準値は施肥前のものです。

土壌の健康状態は良好ですが、若干、問題を抱えています。問題点は早めに改善しておきましょう。pH(H₂O)とpH(KCl)との差が小さくなっております。養分過剰に留意してください。NO₃-Nの残留があります。窒素の施用量に留意してください。リン酸はかなり過剰です。カルシウムやカリウム、微量元素等が植物に吸収されにくくなるリスクがあります。塩基バランスにもかなり偏りが見られます。特にカルシウムの飽和度がかなり大きいようです。

土壌分析結果

分析項目	分析値	単位	判定					診断基準値
			少ない	やや少ない	適当	やや多い	多い	
pH	H ₂ O	6.2	—					6.0 - 7.0
	KCl	6.1	—					5.0 - 6.0
EC		1.00	mS/cm					0.10 - 0.50
無機態窒素	硝酸態窒素	31.4	mg/100g					0.0 - 4.0
	アンモニア態窒素	7.3	mg/100g					0.0 - 2.0
	合計	38.8	mg/100g					0.0 - 6.0
有効態リン酸		478.9	mg/100g					30.0 - 80.0
陽イオン交換性	カリ	156.7	mg/100g					84.7 - 110.5
	石灰	733.5	mg/100g					343 - 447.6
	苦土	99.9	mg/100g					79.3 - 103.4
CEC		25.5	meq/100g					20.0 - 30.0
腐植		3.6	%					3.0 - 5.0
リン酸吸収係数		—	—					
可給態窒素		—	mg/100g					1.0 - 5.0
陽イオンバランス	カリ飽和度	13.1	%					8.2
	石灰飽和度	102.9	%					55.5
	苦土飽和度	19.6	%					17.9
	総飽和度	135.6	%					81.5
物理性土壌	固相	48.2	%					40.0 - 45.0
	液相	21.5	%					25.0 - 30.0
	気相	30.3	%					25.0 - 30.0
	仮比重	1.36	—					0.90 - 1.10
石灰/苦土比		5.2	比					3.1
苦土/カリ比		1.5	比					2.2

※この診断書の基準値は施肥前のものです。

土壌の健康状態は多くの問題をは起こりつつあります。手遅れにならないうちに問題点を改善しましょう。pH(H₂O)とpH(KCl)との差がかなり小さくなっており、養分過剰に留意してください。NO₃-Nの残留がかなりあります。その影響でpH(H₂O)の値が抑えられ、ECの値が高くなっている可能性があります。トマトはナス科の為、高いECに対して耐性がある方ですが、これ以上ECを高めないようにしましょう。窒素の施用量に留意してください。NH₄-Nの残留があります。窒素の施用量に留意してください。リン酸はかなり過剰です。カルシウムやカリウム、微量元素等が植物に吸収されにくくなるリスクがあります。塩基バランスにもかなり偏りが見られます。特にカルシウムの飽和度がかなり大きいようです。